

- 問1 幕末の開国に伴い、産業革命を経たイギリスから安価な綿織物が大量に輸入されるようになったことで、日本国内の経済や社会にどのような影響を与えましたか。その理由や背景を含めて説明した記述として、最も適切なものを選択してください。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- イギリス産の綿織物が高級品として普及したため、対抗して国内の綿花生産者が大幅に増産を行い、輸出額が急増した。
 - アメリカ合衆国が国内の南北戦争により輸出を停止したため、日本国内では一時的に綿織物が不足し、物価の安定に寄与した。
 - 通商条約によって関税が日本側に有利に設定されていたため、安価な輸入品の増加が国内産業の近代化を促す好機となった。
 - 機械生産による安価な製品が流入したことで、手作業に頼っていた日本国内の綿作や綿織物業などの伝統的な産業が大きな打撃を受けた。
- 問2 アヘン戦争の結果を知った江戸幕府が、従来の対外政策を転換させた背景として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 広島県公立入試 類似)
- オランダが清を軍事的に支配したことで、長崎を通じた貿易の維持が困難になると予測したため
 - オーストリアの仲介によって、イギリスと清の間に講和条約が結ばれたことを平和外交の好機と捉えたため
 - 東アジアの強国であった清がイギリスの軍事力に敗れたことを知り、武力衝突を避ける必要性を感じたため
 - イギリスが清に対して三国干渉を行い、日本の安全保障に直接的な脅威が及ぶことを警戒したため
- 問3 19世紀後半にプロイセン王国を中心に行われたドイツの統一について、その中心人物と統一の過程について述べた文として正しいものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- 蒸気機関の改良による産業革命の進展に伴い、経済的な利害の一致のみを理由として自然に統合された。
 - ナポレオン1世がヨーロッパの広範囲を征服したことをきっかけに、各都市が自発的に統合して帝国となった。
 - 議会を中心とする話し合いによって、周辺諸国との平和的な話し合いを通じて全ドイツ連邦が統合された。
 - 首相ビスマルクが「鉄血政策」と呼ばれる強力な軍備拡張を推進し、武力によって統一を成し遂げた。
- 問4 幕末の貿易統計によると、1865年の輸出総額のうち約8割を生糸が占めるほど輸出が急増していました。このように特定の品目の輸出が短期間に激増したことが、当時の日本国内の経済に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- 海外から安価な生糸が大量に流入し、養蚕農家が大きな打撃を受けた
 - 国内で生糸が品不足となり、物価が激しく上昇した
 - 綿糸の輸出も同時に増えたため、綿織物業が急速に発展した
 - 生糸が大量に売れ残ったため、国内の物価が急落した
- 問5 幕末の対外関係において、清がアヘン戦争で強大な軍事力を持つイギリスに敗れたという情報を得た江戸幕府が、その直後に取った対応として適切な説明はどれですか。 (2022年 山形県公立入試 類似)
- イギリスの進出を阻むため、ロシアと秘密裏に軍事同盟を結んだ
 - 鎖国体制をさらに強化し、近づく外国船を一切の警告なしに攻撃し続けた
 - 異国船打払令を緩和し、遭難した船に燃料や食料を与える薪水給与令を出した
 - 長崎以外のすべての港を直ちに開港し、イギリスとの自由貿易を開始した
- 問6 1854年に江戸幕府がアメリカと結んだ日米和親条約では、アメリカ船の寄港地を確保するために伊豆半島と蝦夷地の2か所の港が開港されました。このうち、伊豆半島に位置する港の名前とその役割の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
- 長崎 — オランダとの貿易を継続し、キリスト教の布教を認めるため
 - 浦賀 — 江戸の防衛を強化し、通商条約の交渉を行うため
 - 函館 — 生糸や茶を輸出し、外国の進んだ技術を導入するため
 - 下田 — 漂流民の保護や、薪水・食料などを供給するため
- 問7 19世紀におけるイギリスとインドの経済関係の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
- イギリス政府が自国の産業を保護するためにインドからの綿花の輸入を禁止したため、インドでは茶や絹の生産が主要な産業となった。
 - イギリスの工場で働く労働者の賃金が上昇したため、インド産の手工業製品が価格競争で優位に立ち、インドの職人の生活は豊かになった。
 - イギリスが産業革命を達成したことで、インドは綿織物の輸出拠点から、イギリス製綿織物の販売市場および原料となる綿花の供給地へと変化した。
 - イギリスが蒸気機関を導入したことで、インド産の綿織物は希少な高級品として珍重されるようになり、19世紀を通じて西欧への輸出額が微増し続けた。
- 問8 日米修好通商条約が結ばれた後の日本の状況として、後の明治初期に見られる「レンガ造りの建物や洋装の人々が行き交う近代的な都市景観」などの変化へとつながる、条約の経済的・制度的な特徴を説明したものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
- ハリスが駐日総領事として下田に着任し、幕府との交渉によって日本が持つ領事裁判権を強化することで、外国人とのトラブルを未然に防いだ。
 - アメリカに限定して自由な貿易を許可したため、鎖国体制を維持したまま、江戸の街並みを西洋風に作り替える大規模な都市開発が行われた。
 - 日本が輸出入品の関税を自由に決定できるようになったため、安価な外国製品に高い関税をかけ、国内の伝統産業を保護しながら近代化を進めた。
 - 日本に領事裁判権を認めさせ、さらに関税の税率を日本が決めることができず、関税自主権の欠如によって、外国製品が流入しやすい状況となった。
- 問9 19世紀半ば、アヘン戦争でイギリスに敗北した清が、1842年に締結した講和条約の名称として正しいものを選択してください。 (2018年 広島県公立入試 類似)
- 下関条約
 - 北京条約
 - 日米修好通商条約
 - 南京条約
- 問10 江戸幕府が結んだ不平等条約において、日本が「領事裁判権（治外法権）」を認めたことで生じた具体的な問題点として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- 日本国内で外国人が犯罪を犯しても、その国の領事による甘い判決しか下されない恐れがあった。
 - 日本が特定の国に対して有利な条件を与えると、他の国にも自動的に同じ条件を認めさせられた。
 - 日本に輸入される外国製品に対して、日本側が自由に高い関税をかけることができなくなった。
 - 外国人が日本の土地を永久に借り受け、そこを自国の領土のように扱うことを認めさせられた。
- 問11 近代以降の日米関係を記した年表において、1858年の出来事として「井伊直弼が日米修好通商条約を結ぶ」という記述がある。この時の状況について述べた文として正しいものはどれか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- 勝海舟が全權大使としてワシントンへ渡り、アメリカ大統領と直接調印した。
 - 老中の水野忠邦が、アメリカからの要求を拒否するために結んだ同盟である。
 - 朝廷から正式に条約締結の命令が下されたため、国内の混乱は最小限に抑えられた。
 - 大老が朝廷の許可を得ないまま調印したが、幕府への批判を強める要因となった。
- 問12 南北戦争の最中、リンカーン大統領が北部側の正当性を国内外に示すために発表し、戦局を有利に進めるきっかけとなった宣言はどれですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- フランス人権宣言
 - 奴隷解放宣言
 - アメリカ独立宣言
 - 権利の章典